

エコロジーを水に求めて 「水を創造する」装置で、 顧客のニーズに応える

エムテック

うめナビ vol.3-3

エムテック(藤沢市遠藤、菊地俊文社長、0466・86・6571)は、この地で営業を開始して12年、当初は、東レ(株)の水処理膜試作品を利用した水処理装置を設計製作し、提案することからスタート、その後あらゆる水質の水処理技術専門会社となり、現在に至っている。菊地社長の水処理とのつきあいは25年とさらに長く、エコロジーをキーワードに、社長のライフワークとなっている。

「水は人間(生物)の営みに必要不可欠なものであるが、必ずしも必要な用途にあった水質(成分)で存在するわけではない。合わない水質のまま使用するから、捨てる水も多くなっているのが現状。用途にあった水質の水をつくり、使用することで、使用水量、排水量の低減が可能になる。また、排水等を処理し、再利用することも可能に



「当社の製品で水のエコロジーを実現する」と菊地社長。

なる」と社長は語る。

機械部品製造業向け、医療用、食品工業用、海水淡水化等、多岐に亘る水処理装置を手掛け、利用環境や用途によってオーダーメイドの水処理装置を設計・製作、加えて、装置導入後の保守メンテナンスも行っており、顧客のほとんどが口コミによるものだ。

現在、自社販売製品では、「災害対策用浄水機 L Wシリーズ」が、官公庁、地方自治体、製造業者等へ多くの販売実績を持ち、国の内外を問わず被災地でも大活躍している。また、電力会社等へ多くの販売実績がある「吸着式油水分離装置 OSUシリーズ」

「表層水吸入口 IHシリーズ」「連続運転自動逆洗式オートストレーナ DST Rシリーズ」等が主力製品だ。

「当社の製品で水のエコロジーを実現することを目指し、「常に『水』を考え、製品開発し、社会に貢献していきたい」と夢を語る。「これからも一層『水』に深く関わるという意気込みで、全社一丸となり取り組んでいきたい」。



「災害対策用浄水機 L Wシリーズ」と「吸着式油水分離装置 OSUシリーズ」

でいきたい」。